



2019年3月6日  
C/CGR-JP-2019-05

## ボッシュの電動工具で渋谷の落書きを消そう！ 行政、有志団体、企業のコレクティブ・インパクトによる 地域課題の解決

- ▶ S-SAP 協定事業：渋谷区に落書きを消すための電動工具を寄贈
- ▶ 渋谷区、Clean&Art、ボッシュによるコレクティブ・インパクトで  
渋谷の落書きをクリーンに
- ▶ 企業市民として、地域活動への貢献を拡大

東京 — ボッシュ株式会社(以下、ボッシュ)は、渋谷区の長年の地域課題である落書きによる景観問題の解決のため、渋谷区に落書きを消すための高圧洗浄機やコードレスディスクグラインダーなど電動工具 29 点を寄贈しました。寄贈した電動工具は、東京中心部で落書きによる景観問題の解決に行政とともに取り組む任意団体 Clean&Art などが渋谷区で活動をする際に貸し出されます。

### 組織の壁を越えて地域課題の解決に取り組む「コレクティブ・インパクト」

ボッシュは、2017年に渋谷区と相互協力のもと地域社会の課題解決に取り組む包括連携協定、[「シブヤ・ソーシャル・アクションパートナー協定\(S-SAP 協定\)」](#)を締結しました。S-SAP 協定は、地域の課題解決にあたり立場や業界が異なる組織が組織の壁を越えて互いの強みを出し合い、その価値を高め合う「コレクティブ・インパクト」の概念にもとづいています。

今回活動の対象となった渋谷区の落書きは、近年増加傾向にあります。落書きが放置されると、その周辺が「手入れがされていない区域」と認識され、たばこの吸い殻やごみのポイ捨てを誘発し、景観を汚す悪循環を招きます。今回電動工具を寄贈するアイデアは、「[渋谷をつなげる 30 人](#)」(主催：株式会社フューチャーセッションズ 協賛：渋谷区)から生まれました。「渋谷をつなげる 30 人」は、渋谷区の企業・行政・NPO 市民の 30 人が連携して、落書きのような渋谷区が抱える社会課題の解決策を立案・実行するまちづくりプロジェクトです。

### ボッシュ社員も参加、電動工具を使って落書きを消す活動

1月23日には、Clean&Artが主催した落書きを消す活動において寄贈した電動工具が使用されました。活動には、ボランティアの社員の他、電動工具事業部のトレーナーも参加し、電動工具の安全な使用方法を指導しました。落書きを消すために電動工具を使用したことがない参加者からは、電動工具により効率よく落書きが消せたことについて感嘆の声が聞かれました。今回の協定事業について、渋谷区の長谷部健区長は「落書きはかねてより渋谷の課題で違法です。今回、電動工具を渋谷区に寄贈いただき、美化活動に携わる方々への貸し出しが可能となり、心強く思っています」と述べています。また、ポツシュの電動工具事業部長の高橋俊輔は、「弊社が日本法人の本社を構える渋谷区の課題に対して、電動工具を寄贈するだけでなく、区の職員、任意団体など様々なステークホルダーと連携して地域に貢献できる事に意義があると感じています。今後も地域のニーズに合った貢献をしていきたいと思っております」と述べました。

動画：

「渋谷コレクティブ・インパクト～ポツシュ電動工具を使った落書き消し～」

[https://youtu.be/Gf\\_KVLugd3o](https://youtu.be/Gf_KVLugd3o)

「渋谷コレクティブ・インパクト

～ポツシュ電動工具を使った落書き消し・電動工具紹介編～」

<https://youtu.be/jy0L080oAWA>

### シュトゥットガルトの楽団を招いた「渋谷区こどもテーブル」のためのチャリティーコンサート

渋谷区とポツシュのS-SAP協定事業では、2018年10月にポツシュの親会社 Robert Bosch GmbHがあるシュトゥットガルト(ドイツ)の室内管弦楽団を招いた[チャリティーコンサート](#)を開催しました。渋谷区民をチャリティーコンサートに招待し、コンサート会場では渋谷区が運営する子供に食事や学びの場を提供する「[こどもテーブル](#)」への寄付を呼びかけ、来場者から総額454,519円を集めることができました。コンサート同日には、渋谷区の中学生を対象にオーケストラ鑑賞教室と楽団に帯同したウィーンフィル首席ソロ・フルート奏者のワルター・アウワー氏によるフルート教室が開催されました。ポツシュは、日本で事業を展開する企業市民として、今後も地域の行政および有志団体と連携をとり、課題の解決に貢献していく所存です。

報道関係対応窓口：

角谷 清彦

松本 有可

電話：+81-3-5485-3393

### 日本のポツシュ・グループ概要

日本のポツシュはポツシュ(株)、ポツシュ・レックスロス(株)、ポツシュ パッケージングテクノロジー(株)その他の関係会社から構成されます。ポツシュ(株)は自動車用パーツの開発、製造、販売そしてサービスの業務を展開し、また自動車用補修パーツや電動工具も取り扱っています。ポツシュ・レックスロスは油圧機器事業、FA モジュールコンポーネントやその他のシステムの開発と生産を行い、日本の産業機器技術に貢献しています。ポツシュ パッケージングテクノロジーは包装機械メーカーおよびインスペクション・テクノロジーの開発を行う会社です。さらにポツシュセキュリティシステムズ株式会社は、人命

や建築物、財産などを守る製品とソリューションの提供を主要な事業としています。2017年の日本のボッシュ・グループの第三者連結売上高は約2,950億円で、従業員数は約6,600人です。

### 世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2018年の従業員数は約41万人(2018年12月31日現在)、暫定決算報告での売上高は779億ユーロ(約10兆円\*)を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュはIoTテクノロジーのリーディングカンパニーとして、スマートホーム、スマートシティ、コネクテッドモビリティ、さらにコネクテッドインダストリーに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたイノベーションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 440 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 125 の拠点で約 6 万 9,500 人の従業員が研究開発に携わっています。

ボッシュの起源は、1886年にロバート・ボッシュ(1861~1942年)がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の92%は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っており、残りの株式は創業者であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。

\*2018年の為替平均レート、1ユーロ=130.92534円で計算

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

[www.bosch-press.com](http://www.bosch-press.com) ボッシュ・メディア・サービス (英語)

[www.bosch.co.jp/](http://www.bosch.co.jp/) ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/Boschjapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)